

食物アレルギー対応研修会を開催しました。

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分
- 2 場 所 学校給食センター 第 1 会議室
- 3 参加者 28 名 (保護者 5 名、教職員、調理員)
- 4 内 容

(1) 講演 講師 まつだ小児科医院 松田 隆 院長

- ・食物アレルギー疾患への基本的対応 (乳幼児期からアレルゲンとなる食物摂取を避けるのではなく、少量ずつ慣れさせることも重要。また、花粉の抗原タンパクと果物のタンパクが類似していることから、花粉症の人は食物アレルギーになりやすい傾向にある。)
- ・アナフィラキシー (短時間に全身にあらわれる激しい急性アレルギー反応) を発症した場合の対応は、各関係機関と速やかな連携をとることが大切。
- ・エピペン (アナフィラキシー発症時使用する補助治療剤) の取り扱いについて模擬練習を含めた具体的に説明により、使用方法について参加者全員が確認しました。



(2) 事例発表 発表者 明倫小学校 伊藤 小百合 養護教諭

- ・「食物アレルギー対応について～①学校の実態 (アナフィラキシー反応の事例) ②保健管理 (家庭との連携、職員間の連携) ③保健教育 (児童に対して食物アレルギーについて、紙芝居でわかりやすく説明)」について発表していただきました。



(3) 学校給食センターの対応 説明者 前田 雅子 学校栄養主任

- ・ 食物アレルギー対応の基本的な考え方、対応方針（安全を最優先・学校生活管理指導表提出・完全除去対応）、給食センターでの対応状況（鶏卵を基本とした除去食・代替食の対応、二品以上の対応食の調理は行わない。）、食物アレルギー対応の流れ（実態調査・対応申請の確認・個別面談）を説明しました。

